



第7回中小企業地球環境問題交流会実行委員長
(有 九州中央経理 代表取締役)
山本 友晴
(熊本同友会 副代表理事)

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の被害を東日本にもたらしました。2年以上の時間が過ぎましたが、復興のめどすらたない状況です。
今中同協では「REES」を立ち上げ、被災地の復興、再生エネルギーの構築、被災地での仕事作りなど同友会あげての取り組みを始めています。きめ細かい行動は中小企業のなせる業、まさしく、中小企業家の出番です。
熊本では半世紀前から水俣病が発生し、苦難の中から、今、再生を進め、世界中から注目される環境首都へと生まれ変わりました。「MINAMATA

A(水俣)から学ぶもやい直し」この水俣の地元学からの学びは、参加者の大きな学びとなるでしょう。
又熊本から全国に広がっている「同友の森づくり」の実践を体感していただけるように、同友の森見学会を用意しています。
世界一のカルデラを擁する活火山阿蘇、天草など、風光明媚なたまの熊本の幸、海の幸に恵まれ、そして温泉が豊富な熊本は心身を癒してくれるでしょう。
私たちは、共に学べることを喜びとして皆さんの参加をお待ちしております。

「東日本大震災からの復興・持続可能な社会をめざして」をテーマに進めている「REES」のエネルギー分野の今後の方向性を確認するとともに、「中小企業憲章」の精神と中小企業の見地からの原発・エネルギー問題を考える契機とする。
「環境経営で企業革新を」テーマに取り組んでいる同友エコの省エネ・CO2削減の取り組み(電気、燃料、水道)社員と地域と共に環境経営を実践する取り組み、エコ仕事づくりなどの取り組みの実践を学び合うとともに、環境経営を広めていく場とする。
再生可能エネルギーの現状や課題とともに、太陽光、風力、バイオマス、小水力などの仕事づくりに取り組む会員企業の実践に学び合う。農業や林業などの第1次産業の新しい価値を見出し、環境経営、持続可能な社会づくりの視点から学び合う。

日本最大の環境破壊を経験した水俣の地域再生の事例(地元学)に学ぶ
東日本大震災の復興に取り組む「REES」の活動を深める
「同友の森づくりは人づくり」この運動を全国に広げる
環境保全型農業の経営実践事例に学ぶ
環境経営の重要性を学ぶ

【1日目】
10月
3日
(木)

12:00 受付
13:00 開会・挨拶・同友エコ表彰
13:43 基調講演開始
15:00 基調講演終了・会場移動
15:15 分科会開始
18:40 分科会終了・会場移動
19:00 懇親会開始
20:30 懇親会終了

【2日目】
10月
4日
(金)

8:30 全体会
・分科会報告
・「REES」取り組みについて
9:30 全体会終了(一次締め)
9:50 見学会出発 最寄の駅と阿蘇くまもと空港で解散となります。
*水俣・地域再生コースはJR水俣駅と阿蘇くまもと空港となります
16:00 見学会終了予定
(各見学会の終了時間は、各コースの旅路をご確認下さい)

開催要項

会場

熊本全日空ホテルニュースカイ
〒860-8575 熊本市中央区東阿弥陀寺町2
TEL 096-354-2111

20,000円(懇親会・記録集代含む)

参加費

宿泊は各自
手配下さい

【宿泊案内(会場周辺の会員企業・順不同)】
熊本全日空ホテルニュースカイ
熊本市中央区東阿弥陀寺町2 TEL:096-354-2111
熊本ホテルキャッスル
熊本市中央区城東町4-2 TEL:096-326-3311
熊本グリーンホテル
熊本市中央区花畑町12-11 TEL:096-325-2222
熊本交通センターホテル
熊本市中央区桜町3-10 TEL:096-326-8828

参加申込

所属の同友会事務局まで

申込締切

9月19日(木)
*9月20日(金)以降のキャンセルは、参加費、オプションル
ツァー費の全額をご負担いただきます。予めご了承下さい。

会場ご案内



熊本全日空ホテルニュースカイ

JR熊本駅より徒歩で約8分、車で約3分
阿蘇くまもと空港より車で約40分、リムジンバスで約50分
熊本交通センターより車で約5分
熊本市電 祇園橋電停下車徒歩約1分

第7回 中小企業 地球環境問題交流会in熊本

水俣親水護岸

2013.
10.3木 4金

会場 / 熊本全日空ホテルニュースカイ

「MINAMATA(水俣)から学ぶ もやい直し」
1990年から水俣では壊れてしまった人々のきずなを回復しよう「もやい直し」が始まりました。
「もやい直しとは、船の元綱をしつかり結びあうこと。それと共同してことにある」この意味があります。

環境経営の実践で
地域再生を！



主催: 中小企業家同友会全国協議会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-7-16 市ヶ谷KTビル3F
Tel.03-5215-0877 Fax.03-5215-0878
http://www.doyu.jp

設営: 熊本県中小企業家同友会

〒860-0834 熊本市南区江越2-1-7
Tel.096-379-8101 Fax.096-379-9102
http://www.doyu-kumamoto.gr.jp

後援

環境省(予定) 熊本県
熊本市、水俣市

ないものねだりをやめて、あるもの探し

～地域と企業を元気にする「地元学のススメ」～

よしもと てつろう
地元学ネットワーク主宰 **吉本 哲郎氏**



＜プロフィール＞
1971年宮崎大学農学部卒、1971年～2008年水俣市役所勤務(都市計画課、企画課、環境課長、生涯学習課長、水俣病資料館館長)、1997年～1999年熊本大学非常勤講師、2010年～鹿児島大学生涯学習教育研究センターリサーチアドバイザー、現在地元学ネットワーク主宰

90年代から水俣市役所環境課、農林水産課の課長、水俣病資料館館長として町の再生に尽力。現在は地元学を提唱し、地域再生の活動に取り組んでいます。「吉本地元学」とは、地元学に学ぶこと。ないものねだりではなく、あるものを探し、地域と人が持っている力に気づき、町や村の元気を自分達でつくっていくことが世界同時不況、災害復興の中でより強く求められていると提唱。目指すのは、「人が元気で、自然も元気で、経済も元気の町や村をつくること」。この自分達で調べて、地域再生への問題解決に活かす「吉本地元学」は水俣に生まれ、陸前高田で大きく育ち、ベトナムなど、国内外で創造的に実践されています。

分科会 1 REES 原発・エネルギー問題を国民・中小企業の見地から考える 原発事故・震災復興を全国的な課題として連帯の輪を

「東日本大震災からの復興～持続可能な社会をめざして」をテーマに進めている「REES」では、震災復興を全国的な課題として連帯の輪を広げ、日本最大の環境破壊を引き起こした原発事故を「中小企業憲章」の理念と人間の尊厳の視点などから捉えなおし研究を深めています。本分科会では、「REES」での議論の経過と到達点を確認し、杉村氏の企業づくりの中で、小水力発電の取り組みや、自然エネルギーの導入による地域・中小企業の仕事づくり・仕組みづくりの実践などから研究を深めます。

「REES」…共同協賛日本大震災復興推進本部研究グループ

報告者	すぎむら いくお 杉村 征郎氏 杉村精工(株) 会長 中同協 中小企業憲章・条例推進本部副本部長
会社概要	事業内容 / 機械の開発・設計・製造、機械づくりの総合メーカー
設立 / 1962年7月	
資本金 / 1,200万円	
年商 / 10億円	
社員数 / 40名	URL http://sugimura-seiko.com/

分科会 3 中同協 地域循環型の自然エネルギーを地域・市民の力で 持続可能な社会をつくる新しい仕事づくり

資源は有限でどう循環させていくのが課題と、長野県飯田の「おひさま進歩エネルギー」の活動に学び、太陽光、バイオマス、水、地熱、風力などすべての自然エネルギーを市民参加で作る「おひさま自然エネルギー(株)」を2012年6月に設立。「地域資源を活用した再生可能エネルギー」への挑戦を進めています。その他一般社団法人CSコミュニティ設立、(仮称)株式会社ごとと自立、建設に向けたプロジェクトに持続可能な社会をつくる地域や市民の力をいかした新しい仕事づくりの可能性を学びます。

報告者	ひらぬま たつお 平沼 辰雄氏 (株)リバイブ 代表取締役社長 中同協 地球環境委員長
会社概要	事業内容 / 産業廃棄物の収集運搬・中間処理、建築物の解体・環境共生機器販売
設立 / 1984年8月	
資本金 / 1,200万円	
年商 / 10億円	
社員数 / 33名	URL http://www.revive.co.jp/

分科会 2 新潟 木質ペレットの地産地消が地域経済をまわす

長崎生まれ、新潟在住。平成16年に前職であるとい職を柱に独立開業。地元新潟市の角田山の荒廃を見るにつけ、森林整備の必要性を強く感じ、木質バイオマス燃料である「木質ペレット」を燃料とするペレットストーブにたどり着く。そして、エネルギーの地産地消の普及を目指し、現在、全国を飛び回る。3・11後、エネルギーの地産地消や自立分散型エネルギーが目ざされている今、視点を変え、新しい地域づくりをはじめよう。

報告者	ふるかわ まさし 古川 正司氏 (株)さいかい産業 取締役 新潟同友会
会社概要	事業内容 / 木質バイオマス燃焼器具の製造販売、木質バイオマス燃料製造装置の開発、森林伐採
設立 / 2004年5月	
資本金 / 7,000万円	
年商 / 3億1,000万円	
社員数 / 6名	URL http://www.saikai-sangyo.com/

分科会 4 大分 経費削減の追求が、企業体質を激変させた 外部環境に負けない社風と未来が見えてきた

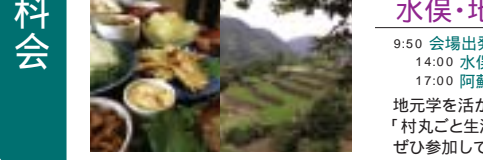
リーマン・ショックで半導体事業の売上げが4か月で30%に激減。「雇用は守るから、あらゆる無駄の削減をして欲しい!」と、生き残りを賭けた策は経費の削減でした。同友エコの実践で、社内に自主的・能動的に働く社風が芽生えてきました。新規事業としてエコ事業部を作り、環境商品の販売・施工・メンテナンス、更には開発まで手掛けるようになり、請負中心だった本業が提案型へと進化をはじめ、5年先の会社の未来が見えてきました。

報告者	あべ せいじ 安部 征吾氏 大分デバステクノロジー(株)代表取締役 大分同友会 地球環境委員長
会社概要	事業内容 / 半導体組立・試作開発事業、省エネ推進事業
設立 / 1973年3月	
資本金 / 2,400万円	
年商 / 10億円	
社員数 / 120名	URL http://www.odt.co.jp/

分科会 5 熊本 瓦礫の中からの再生復興は「地元学」が希望の光だった!

地域再生の秘訣はなんでしょう? 地域再生にはノウハウがあるのでしょうか? この分科会は、水俣の「地元学」とも縁の深い陸前高田の(株)八木澤商店の河野会長を交えて、基調講演の地元学ネットワーク主宰の吉本さんのダブル報告で構成します。瓦礫の中から立ち上がる復興の希望の光で、改めて同友会精神の源流を照らし出してみよう。

コ-ディネ-タ-	よしもと てつろう 吉本 哲郎氏 地元学ネットワーク主宰
報告者	こうの やすし 河野 和義氏 (株)八木澤商店 取締役会長
会社概要	事業内容 / 味噌醤油 製造業
設立 / 1960年	社員数 / 37名
資本金 / 1,000万円	事業内容 / 味噌醤油 製造業
年商 / 4億円	



日本の環境首都・水俣から『持続可能な地域社会づくり』を学ぶツアー(1泊2日)

日程 **10月4日(金)** 16:00 阿蘇くまもと空港出発 【水俣・地域再生コース参加の方は、そのまま水俣に残って、温泉へ移動】 18:00 水俣湯の鶴温泉到着 19:00 「食と人の交流 in みなた」スタート / 21:00 終了 宿泊 **10月5日(土)** 9:00 湯の鶴温泉出発(エコタウン経由) 9:30 水俣病資料館 館内見学と水俣病語り部講話) 12:30 JR新水俣駅 14:00 阿蘇くまもと空港着(ツアー終了)

料金 / 15,000円(バス代+宿泊費<2食>) ※最小催行人数20名(定員40名) バスは熊本県内の移動のみ 全国初となる「日本の環境首都」の称号を獲得した環境モデル都市・水俣市は、「水俣病」公認施設、地域再生に向かって何に取り組んできたのか、50年の歩みを学ぶツアーです。風情豊かな山の温泉にて、水俣の方々と食と会話で交流する「懇話会」もありますよ～

分科会 6 熊本 人づくり・土づくり・物づくり 持続可能な環境保全型農業経営を目指して

水俣の支援からつながったご縁で環境を考えた農業とめぐり合い慣行農法と並行しながら無農薬に取り組み出し、30歳で一代奮起し全面無農薬栽培へ。怖かった…… 先も見えなかった…… ようやく光が見え始めたのが10年後、そこから十数年18名の雇用を生み出すまでになった。何が支えになったのか? これから目指す農業とは? 事業承継まで含め、澤村流をお伝えします。

報告者	さむら てるひこ 澤村 輝彦氏 (有 肥後あゆみの会 代表取締役 熊本同友会
会社概要	事業内容 / 有機農産物生産・販売、(創業は明治で現在5代目)
設立 / 2001年10月	
資本金 / 385万円	
年商 / 1億3,000万円	
社員数 / 6名	URL http://higoayuminokai.com/

2日目 阿蘇・同友の森コース(定員150名)

9:50 会場出発 湧水群めぐり・見学 同友の森 現地視察 昼食
14:40 阿蘇くまもと空港着 16:00 JR熊本駅着

同友の森運動5年間の現地見学と、第7回中小企業地球環境問題交流会参加記念植樹。そして豊かな熊本の水の湧水地での試飲!

宇城・農業コース(定員100名)

9:50 会場出発 (有 肥後あゆみの会 農場見学 昼食
14:30 JR松橋駅 15:30 阿蘇くまもと空港着

全面無農薬栽培に取り組む有 肥後あゆみの会。自然に逆らわない澤村流環境保全型農業を現地で学びます!

熊本・環境経営コース(定員50名)

9:50 会場出発 大東商事 株 企業訪問 昼食
13:40 JR熊本駅着 15:00 阿蘇くまもと空港着

廃棄物に新たな役目を! 循環型社会の構築を目指した環境ビジネスを体感してみませんか。

水俣・地域再生コース(定員100名)

9:50 会場出発 12:00 水俣・村丸ごと生活博物館(家庭料理のおもてなしと村の宝めぐり)
14:00 水俣中央商店街(村のものづくり紹介・地元企業との連携事例) 15:20 JR新水俣駅
17:00 阿蘇くまもと空港着

地元学を活かして、企業とムラが「地域の元気づくり」を始めた! 「村丸ごと生活博物館」を見学しよう! 終了後は、1泊2日のオプションツアーにぜひ参加して、水俣の学びをさらに深めてください!!

見学ルートは都合により一部変更になる場合がございます。

